

横田基地問題を考える会

ニュース NO. 15

連絡先 電話&FAX 0428-22-6273

ホームページ アドレス

yokota-peace.sunnyday.jp

立川市議会が 陳情書を採択！

横田基地もいらない！10.27 市民交流集会実行委員会 が、

横田基地周辺5市1町議会に、「オスプレイの配備・飛行中止を
求める意見書」を政府・防衛省
にあげるよう陳情書を提出

立川市・昭島市・福生市・
羽村市・武蔵村山市・瑞穂町

に要請と陳情

8月14日に、5市1町に
オスプレイに日本配備に反
対すること、横田基地への
飛来に反対することを要請
し、あわせて意見書を政府
に提出することを求める陳
情を出しました。

福生市・羽村市・瑞穂町
は事前に連絡し、関係者と
面談しました。瑞穂町は副
町長が対応し、積極的な対
応でした。

これらはそれぞれの議会
の委員会で審議されました。

立川市本会議で採択、9月
28日防衛省に意見書提出！

立川市では委員会でも可
同数となり委員長採決で採
択、その後本会議で、賛成

14、反対13（民主・自民）
で採択され、意見書を政府・

防衛省に提出することが決
まりました。昭島市の委員

会では採択されましたが、
本会議で否決されてしまい

ました。羽村市は委員会
委員会で採択、その他の議会は

委員会段階での不採択とな

りました。

5市1町で、委員会の

審議方法は大きく異なる

立川市の委員会だけは、

陳情を提出した団体の代表
が趣旨説明をすることが出
来ますし、委員からの質問
もありました。羽村市では
委員が理事者に意見を求め
ることが出来ます。福生市
では委員の発言は1回だけ
に制限され、直ちに採決と
なりました。昭島市では請
願は紹介議員（所属議員で
ない）への質問もあり、理
事者への質問や委員同士の
議論が交わされ、陳情3件
が一括採択されました。武
蔵村山市では委員からの質
問に理事者が答えて採決と
なり、採択は否決されまし
た。

委員会審議を傍聴して

一番感じたのは不採択の
理由が「オスプレイの配備
は防衛のために必要」とい
う意見でした。本当にどこ
かが攻撃してくると思っ
ているのでしょうか！小泉政
権で「備えあれば、憂いな
し！」と一貫して防衛体制

を強化しましたが、その結
果、アジアの緊張が高まり
ました。日本は以前はソ連
の攻撃に備え、その後は中
国に備え、今は北朝鮮の備
えています。軍隊はいつも
仮想敵国を必要とします。
日本の軍備は周辺国の軍備
を強めます。この悪循環を
どう断ち切るのかは、政権
を担う人に問われることだ
と思いました。（山田）

■オスプレイ事故件数

	MV22	CV22
クラスA (重大事故)	2	2
クラスB (中規模事故)	6	6
クラスC (小規模事故)	22	20
計	30	28

米軍資料による
10月～11年9月 期間: 1966年



半田滋さんの学習講演会

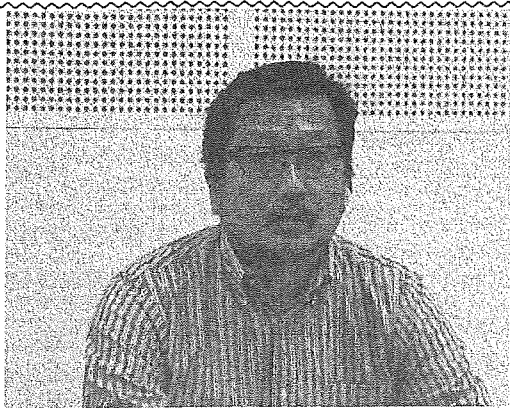
「続・『自衛隊横田基地とは何か』」

アメリカは横田をどうしたいのかを考えよう

去る7月21日、私たちの
会主催の学習講演会「続・
『自衛隊横田基地とは何か』」
(講師 東京新聞論説委員
半田滋さん 立川市民会館
アミュー)には、44人の参
加で、熱心な質疑が行われ
ました。

この講演で半田さんが強
調されたこと。

アメリカは横田基地をど
う変えようとしているのか
を知ろう。アメリカの「米



軍再編」の狙いは、海外に
展開した自国の兵力と施設
を縮小し、同盟国に肩代わ
りさせること。しかし、中
国との対抗戦略から、沖縄
などの日本の基地は維持・
強化する。

横田基地については、第
5空軍を第13空軍に統合し
て、第5空軍司令部を引き
上げる計画であったのに、
日本側から、それではアメ
リカの抑止力で日本が守ら
れているという建前がくず
れてしまうので、第5空軍
を横田に残してくれと要求
されて思いとどまった。そ
のかわり、第5空軍の司令
部は形だけとし、重視して
いるミサイル防衛機能を強
化するため、府中の航空総
隊司令部を横田に移転させ
て、日米共同の「統合運用
調整所」を新設する。

日本側もこの機会を「自

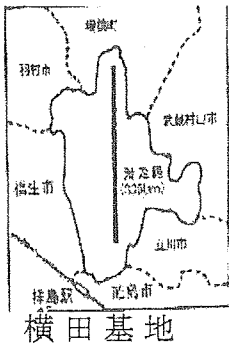
衛隊横田基地」新設に利用
した。

「統合運用調整所」は新
築の航空総隊司令部棟の地
下にあるが、航空自衛隊側
の指揮所は、同じ階の別の
部屋にある。米軍の指揮所
も別の部屋にある。

だから「統合運用調整所」
は米軍と自衛隊が顔をあわ
せて、話し合うためのもの
で、米側の相手方は第13空
軍の副司令官である。

現在、米軍は横田基地で、
パラシュート降下や様々な
訓練や共同演習を行ってい
るが、折角の広い基地を有
効に使うとしていっているもの。

だから、住民が周辺自治
体と一緒にあって、横田基
地の中の不用になっっている
施設を返還させる強い運動
をおこせば成功するかも知
れない。そういう目で横田
基地の徹底した点検が必要
である (文責 盛岡)



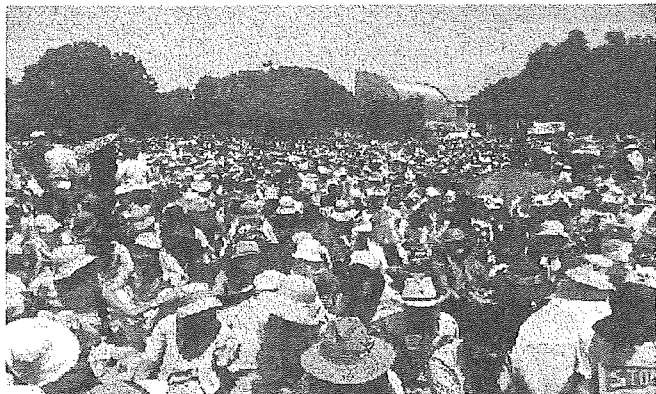
「この高揚感はなんだ」

小柴康男

毎週金曜日の首相官邸前
のデモや、「7・16さよう
なら原発10万人集会」に
参加してみた。かつて無い
ほどの人々が集まり、大き
な組織が主催し動員をかけ
ているのではなく、複数の
世話人達が新しい情報伝達
手段を駆使して、分断され
た個人や小グループの「原
発いらない」という想いを
見事に集約した成果といえ
よう。

「脱原発」という共通の

思いが唯一の繋がりどころ
で、参加することへの障壁
は低く、1人でも、家族単
位でも、気楽に参加できる。
デモや集会の参加者は20代
から40代の人が目立ち、学
生と組織労働者主体の60年
代とは明らかに異なり、こ
のデモは実に楽しい。
太鼓が鳴り響き、手作り
の旗やプラカードが揺れ動
く。子どもの笑顔や頑張る
高齢者。ピエロに仮装した
若者など、沿道や歩道橋か
ら見ている人も参加してみ
たくなる高揚感の中で考え
た。



この動向を、私たちはど
う評価し、吸収できるのか。
①組織があれば「運動」が
進むというわけでもない。
②新しい情報伝達手段は、
市民運動を盛り上げるため
に不可欠なものらしい。
③敷居が低いほうが多くの
人が参加しやすいようだ。
④いま盛り上がっている脱
原発の運動は、所謂「革新」
の運動ではない。

⑤組織や団体の参加も必要

横田の米軍機の飛行回数
やはり午前11時、午後1時、
夜8〜9時に多い

昭島市の拝島二小屋上
の測定結果

昭島市の拝島二小の屋上の今年6月〜8月の測定でも、依然として常駐機C130ハーキュリーズ(四発のプロペラ輸送機)の巡回訓練飛行が午前11時、午後1時、夜8〜9時に集中していることがハッキリとわかります。

このことは拝島二小地点だけでなく、横田基地の周辺の広い地域にわたって危険な巡回飛行が繰り返されていることも裏付けています。

そして、宜野湾市に対して、防衛省が普天間基地での米軍機飛行が自治体と合意した飛行コースを大きくはみ出している実態を明らかにしたように、横田基地についても同様のデータを、是非公表させる私たちの本腰を入れた情報公開運動の取り組みが必要でしょう。

<どの時間帯の飛行が多いか>

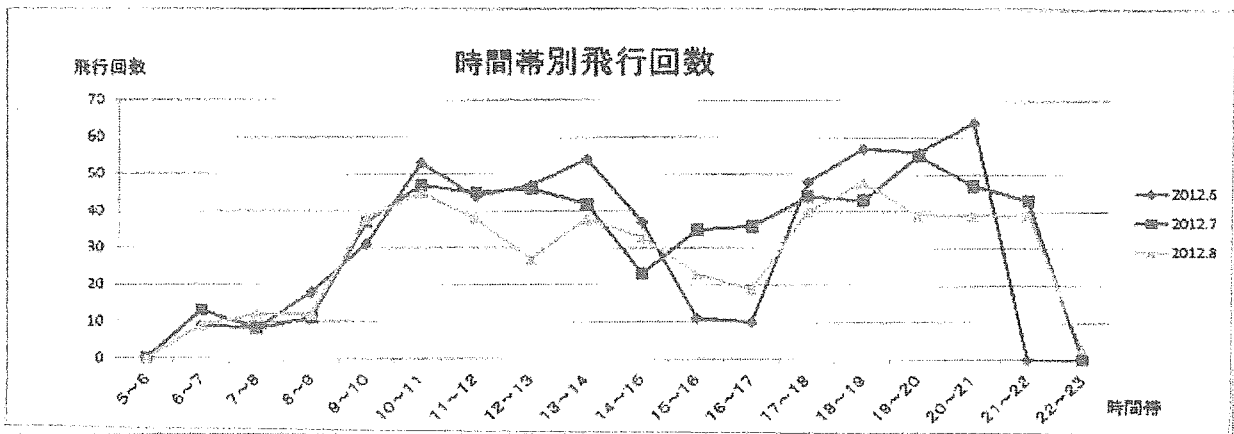
横田基地飛行回数調査

昭島市立拝島第二小学校

時間帯別の飛行回数・月間飛行回数の推移

(2012.3・2012.7〜2012.8)

年月	5-6	6-7	7-8	8-9	9-10	10-11	11-12	12-13	13-14	14-15	15-16	16-17	17-18	18-19	19-20	20-21	21-22	22-23	合計
2012.6	0	9	8	18	31	53	44	47	54	37	11	10	48	57	56	64	0	0	547
2012.7	0	13	8	11	37	47	45	46	42	23	35	36	44	43	55	47	43	0	575
2012.8	0	9	12	12	38	45	38	27	36	33	23	19	40	48	39	39	39	3	502



横田基地もいらない!
沖縄とともに声をあげよう
10.27市民交流集会
10月27日(土)
福生市民会館
(JR牛浜駅下車徒歩約5分)
午前の部 10:00 開演
DVD上映
午後の部 13:00 開演
講師 孫崎 享さん
「アメリカいいなり日本
日米安保の虚構」



米軍輸送機 C130 H

会員のみなさんが、友人を誘って
参加して下さいよう、お願いします
お問い合わせ 080-8721-7177

(2ページから)
だが、個人の参加を促すところにかぎがありそう。
⑥デモや集会が楽しいから参加者も増え、沿道の共感も呼ぶ。
⑦客観情勢の分析から運動の必要性を説く手法はもはや時代遅れ、もっと身近な不満や情念を捉える能力がないと、いつも同じ顔ぶれしか集まらない。
⑧国会議員は必ずしも私たちの意思を代表しているわけでもない。権力の意思に抗する住民投票やデモが、「大きな音」から「対話すべき声」に、質的な転換を遂げることもあるようだ。

横田基地

日米友好?? 祭

横田基地日米友好祭と称する催しが行われるので、久しぶりに基地内の観察に出かけた。

JR青梅線に乗ると「牛浜駅は混雑しているので、横田基地に行かれる方は一つ手前の拝島駅で下車して歩いて行くように」と車内放送がくり返してあるのでびつくり。かまわず牛浜駅まで行くと、狭いホームは乗客であふれていて階段を昇り改札口を通って駅前道路まで出るのにかなり時間がかかった。

牛浜駅わきの踏切りから基地の第五ゲートまで、福生市民会館の横を通る五日市街道は、両側の歩道からみ出す人波が車道まであふれている。ゲート前ではしばらく待たされて押されな



がら基地内に入る。検問も事無く通り過ぎる。幼な児を肩車している男たちに「危険だから肩車をやめて子どもを下ろすよう」うるさく警察官の警告が放送されている。

誘導路そばには日米の戦闘機や輸送機が並べられ、その前では喜々としてアメリカ兵に寄りそって写真を撮る女の子たち。しかも順番で、次々と。

私はその姿に、かつて戦後の街で見たGIとパンパンと呼ばれていた女性たちの影を思い出して胸が痛かった。当時の彼女たちには生活がかかっていたが、今のバカ娘たちは唯々ほがらか。かつてのベトナム反戦闘争や現在の沖縄の基地反対闘争で苦悩する人たちのことを考えたことがあるのだろうか。日米友好祭に遊びに来る娘から野田首相に至るまで、頭の中は空っぽなのか。

私が帰る頃は警官がたくさん出てゲート前で入場制限をしていた。家族連れや



乳母車で来ている人も多く、反原発のデモと同じようなスタイル。

「弁当つき五〇〇〇円」で都心から観光バスでのツアーが大繁盛という。

二日間で十万人をはるかに超える入場者があったというが、こんな国民が多い中で、横田基地をなくそう、安保をなくそうという私たちの運動はますます重要になってくる。(島田)

「横田基地座り込み」に二〇八名が参加!

41回目となった「横田基地座り込み行動」は、8月19日「基地友好祭」と重なったため、福生公園で行われました。猛暑の中、一〇八名の参加があり松平晃さんがトランペットの演奏で盛り上げてくれました。



地元の渡辺正郎さんはじめ、国民平和行進の通し行進者5名全員が参加され、「核兵器も原発もオスプレイも、横田基地もいらない」と訴えました。

横田基地に行く人、帰る人と切れ目なく続く人の流れの中「10・27市民交流集

会」への参加を呼びかけるチラシを配りましたが、公園内でバスを待ちながら、座り込みスピーチを聞いていた人達は皆さん受け取ってくれました。

それにしても千葉方面から、読売観光が七台ものバスを仕立てて来ていたのはビックリしました。いずれにしても、十数万人にのぼる人が、東京に広大な米軍基地があるのだという認識は持つてもらえたものと思います。(清水)

